



シーハット・ミュージック・フェスタ2010に向けて

ゲスト／アーティスティック
 ・アドバイザー 松原 勝也さん

◎インタビュー 龜子 政孝（コントラバス）

昨年のミュージック・フェスタでも様々な取り組みがありました、全体的な感想はどんなものだったでしょうか。

定期演奏会以上に間近にアーティストを見て、余計音楽への親しみや感動が深まる1週間だったように思います。市民の皆様、パトロネージュ会員の皆様との繋がりにおいてもOMURA室内合奏団ならではの、他では出来ない企画だと思います。

僕は「松原宿」でのアウトリーチが大変印象に残っています。

あれはとても良かったですね。アウトリーチはお客様との「出会い」が生まれます。お客様との距離も近いですし、演奏家もお客様の反応を肌で感じながら演奏する事は素晴らしい体験になります。こうやってミュージックフェスタを今年も継続し、市民の皆様とOMURA室内合奏団の団員が交流を深めていけるのは大変素晴らしい事だと思います。

ジュニアとの共演についてどのように感じられましたか。

子ども達は練習時だけでなく、本番まですごく正直な感性をそのまま演奏に表現出来るので、とても充実した楽しい時でした。

今年のコンセプトはどういった感じでしょうか。

まず、ワンコイン第2夜で演奏するメンデルスゾーンの八重奏曲はメンバーからの要望も強い曲で、実際曲の内容もとても素晴らしいので楽しみにして頂きたいです。ワンコイン第3夜の「ティル～」は元々フルオーケストラのための作品を5人で演奏するため超絶技巧が見どころです。また、クラリネット五重奏曲も室内楽の最高峰と言われる名曲です。



そしてガラコンサートで演奏するハイドンの「ロンドン」は沢山あるハイドンの交響曲の中でも金字塔の1曲です。ハイドンの作品は一見全部似た感じに思えますが、ユーモアとアイディアに満ちた、チャーミングで多彩なものです。1曲1曲がまるで宝石箱のように輝きを持っています。「ロンドン」はOMURA室内合奏団にとても合った曲だと思います。

最後にパトロネージュ会員の皆様に一言お願いします。

OMURA室内合奏団の演奏は既に何度も聴かれていると思いますが、日本の中でも演奏だけではなく、パトロネージュ会員の皆様や大村市民の皆様との繋がりにおいて、他に例のない団体だと思います。

パトロネージュ会員の皆様の熱いご支援に大変感謝しております。ますます発展していく為に、皆様のお力が必要となりますので、今後ともどうぞ応援を宜しくお願い致します。



和やかな雰囲気の中行われたインタビュー。
 インタビュー後にはこんな2ショットも撮らせてもらいました♪
 ミュージック・フェスタへのご来場お待ちしています！

Information

●8月17日(火)～22日(日)「シーハット・ミュージック・フェスタ 2010」
(場所:シーハットおおむら内さくらホール、ロビーなど)

団員オススメ!ココが聴きどころ!!

水
18
19時～

ワンコインコンサート
第一夜
“ピューピルズコンサート”

- ◎さくらホールロビー
- ◎出演:団員のお弟子さんたち

100円で聴けるよ!



100

今年のフェスタの新企画。合奏団のメンバーの生徒さん達が、ヴァイオリンアンサンブル、チェロ合奏、クラリネットアンサンブル等を、ロビーを舞台に繰り広げます。
どうぞご期待下さい!

(光田)



木
19
19時～

ワンコインコンサート
第二夜
“弦楽アンサンブル”

- ◎演奏曲目:メンデルスゾーン/弦楽八重奏曲
- ◎さくらホールロビー
- ◎出演:松原勝也、菅家恭子、齊藤 享、中西 弾、長嶋拓生、小林知弘、田辺清士、下田直子

500円で聴けるよ!



500



弦楽四重奏は16本の弦。弦楽八重奏は32本の弦。しかし単純に二倍以上の響きを持つ小交響曲のような曲です。後に手を加えてはいますがわずか16歳のときの作品です。

(長嶋)

金
20
19時～

ワンコインコンサート
第三夜
“弦と管のアンサンブル”

- ◎演奏曲目:①R.シュトラウス/もう一人のティル・オイレンシュピーゲル (ハーゼンエール編)
- ②モーツアルト/クラリネット五重奏曲
- ◎さくらホールロビー
- ◎出演:①松原勝也、山田芳美、種口敬明、清水万敬、亀子政孝
②山田芳美、松原勝也、中原大幾、長嶋拓生、下田直子

500円で聴けるよ!



500

R.シュトラウスの作品28をもとに、5人各々がたいへん忙しく演奏するように編曲されました。ティル～とは日本での《一休さん》のような存在で、14世紀に実在されたと言われています。

(清水)



のちのクラリネット5重奏曲のお手本にまでなった名曲です。とにかく珠玉のメロディーが美しく、美しく、美しい!

(山田)

土
21
10時30分～
11時30分～

“音の動物園” ◎リハーサル室

昨年、合奏団メンバーと大村市内公募の小学生と共にプロデュースしたコンサートの再演。動物の曲を集め、物語といっしょに流れていきます。小さなお子さんもと一緒に、“ご来園”お待ちしています。



土
21
10時
～12時

“楽器体験”
◎さくらホールロビー

憧れの楽器に直接触れられるチャンスです!

◎さくらホール
◎チケット/
大人2,000円、高校生以下1,000円
(※当日500円増し)

日
22
14時～

“ファイナル・ガラコンサート”

- ◎演奏曲目:モーツアルト/6つのレントラーKV605 (ジュニアオケのみ)
エルガー/弦楽のためのセレナード
バルトーク/ルーマニア民俗舞曲 (ジュニアオケとの共演)
ハイドン/交響曲第104番「ロンドン」

小学生から高校生までの小さなプレイヤーがステージに集結します。合奏団メンバーとの息も2回目とあって、ぴったりのはず。若々しい選曲で、メンバー顔負けのエネルギッシュな演奏を披露してくれるでしょう。



ハイドンの交響曲の中でも傑作の1つに挙げられるこの曲は、軽快さだけではなく、奥行きや味わいを感じるような名曲です!!ハイドンの交響曲、実はOMURA室内合奏団初挑戦!是非この機会をお聞き逃しなく♪

(池田)



芸術監督だより

プログラミング

OMURA室内合奏団第10回定期演奏会は、超満員のお客様をお迎えして、久々の迫昭嘉さんの「皇帝」と松原勝也さん指揮の「田園」というエクサイティングなプログラムで、大盛況の中に終了いたしました。

今回のプログラミングには深い思い入れがありました。8年前、現職に就任した折、室内合奏団の創設を決意し、相談したのが迫昭嘉さんでした。ピアニストの迫さんが指揮者としても活躍されていたこともあり、音楽監督に就任していただきました。ピアノを弾きながら指揮をする、即ち“弾き振り”も何回かやっていただきました。「皇帝」は、韓国遠征の折のプログラムに入っていたのですが、大村では弾き振りで、韓国では、あちらの指揮者での演奏でした。

10回定期にはぜひ迫さんで「皇帝」をと前々から思っていました。松原さんは迫さんが音楽監督を辞められた後、アーティスティッ

ク・アドバイザーとして、実に、熱く、熱くかかわっていただいており、今まで、ソリストとして、またヴァイオリンの弾き振りで出演していただいていましたが、初めて、ヴァイオリンを弾かない指揮者としての出演だったのです。

今回に限らず、プログラミングはいろいろ考えて構成しています。お客様に喜んでいただくことは勿論ですが、合奏団としての選曲も必要です。

メンデルスゾーンの弦楽合奏曲全曲演奏は、OMURA室内合奏団のレパートリーとして適しているという迫さんのご意見で取り上げました。

季節的なことも加味します。ソリストの可能性にも合わせなくではありません。

演奏時間も長すぎず短すぎず、とか。とにかく、試行錯誤の結果、決められたプログラム全部が好評とは限りません。その点、5月末定期の「皇帝」と「田園」は大好評で、嬉しい限りでした。8月のミュージック・フェスタのプログラミングは変化に富んでいます。11月の定期はぐっとポピュラーにヴィヴァルディーの「四季」とモーツアルトの40番です。どうぞお楽しみに！

村嶋 寿深子

OMURA Chamber Ensemble Report

5月30日(日)に開催された10回目の定期演奏会は、超満員のお客様と共に無事終える事ができました。

ご来場頂いたみなさま、本当にありがとうございました。

♪来場頂いた会員様の声

○迫さんのピアノ、松原さんの指揮ともに素晴らしいです。今後も今回の様にメジャーなクラシックの名曲を演奏して欲しいと思います。
(大村市・女性)

○第10回定期演奏会おめでとうございます。第20回、30回と期待しています。「皇帝」は少々肩が凝りましたが、「田園」はリラックスできました。“組み合わせの妙”でしょうか。
(大村市・男性)

○黒い服を着た魔法使いのような指揮者に魔法をかけられ、良い音とハーモニーが出ていました。ピアノの迫氏も実際に良かったです。
大変に心が洗われました。
(県外・男性)



(リハーサルの様子)



(本番の様子)

○とても心豊かになる演奏でした。次回も楽しみにしています。

(長崎市・女性)

○すばらしい演奏でした。今までの中で1番よかったです。

(諫早市・男性)

○田園の松原先生の指揮は「見る音楽」としてとても楽しかったし、松原先生の動きを見ていると音楽の解釈までできてしまう感じでした。指揮者はなるほどエンターテイナーなんですね。OMURA室内合奏団も素晴らしい音のふくらみで感動しました。
(不明)

団員オススメのCD紹介!

今回は、ミュージック・フェスタで演奏されるメンデルスゾーンの「弦楽八重奏曲」とハイドンの「ロンドン」について、団員のおすすめを紹介してもらいました。

編集部(以下H)：菅家さん、メンデルスゾーンの弦八について教えてください。
菅家(以下K)：この曲は彼が16歳時の作品で弦楽四重奏×2という編成です。全曲を通して若さが満ち溢れていますが、特に一楽章は第一ヴァイオリンの旋律に乗って喜びが何処までも駆けていくようです。聴いていると自分もどこかに連れていくってくそうです。

H：おすすめのCDはありますか？

K：お薦めの一枚…実は何枚も聴き比べるわけではなく、たった1枚のCDも行方不明で…なので、お手持ちの、あるいは新しく買い求められたその一枚がお薦めと言うことにしてください。

H：わかりました。ありがとうございました。

H：もう一方、伺いましょう。トランペットの井手口さん、ハイドンのロンドンは、どの盤を聴いていますか？

井手口(以下I)：これをきいています。

指揮／オイゲン・ヨップム 演奏／ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団
レーベル／ユニバーサル・ミュージック・クラシック [B000AU1LGM]

H：ロンドンだけにロンドン・フィルなんですね。

聴き所って、どんなところでしょう？

I：んー、なかなか難しいですね、うまい言葉が思い付きません。まずは、聴いてみてください！

H：わかりました。ありがとうございました！



団員リレートーク



齊藤 享 (ヴァイオリン)

OMURA室内合奏団でヴィオラ→第1vn→第2vnと演奏してきました。チェロは弾き方が違うので出来ません。学生時代、先輩の卒業演奏会でチェロが足りないので一生懸命練習して出演した事があります。終演後に師匠からヴァイオリンをもっと練習しなさいと怒られました。

今日は、第2ヴァイオリンについて「カルテットの教科書」より紹介します。

「第2ヴァイオリンは往々にして、4パートの中で最もつまらないパートだと思われがちです。確かに最も控え目なパートと言えるかもしれません、だからといって意欲的なヴァイオリン奏者がこのパートをばかにしてよいわけではありません。」(以下中略)

※vn=ヴァイオリン

新しく始まったメンバーによるリレートーク。
齊藤さんがセカンドヴァイオリンについて熱く語っています!

第2vnは、伴奏や支えの役割を担っている場合には、他のパートに合わせる必要があります。しかし目立たちは禁物とはいっても、一方でソロ・パートを受け持つ箇所ではしっかりと主張しなければなりません。イニシアティブを取るよりも他に合わせることが多く、目立って責任を負うことの少ないパートとして、とりわけかなりのあいだ抑えた弾き方を要求するような部分が続く場合、わずかずつのテンポから遅れてしまう危険性に注意しなければなりません。第2vnの責任はそこにあるのです。第2vnの腕の生かしどころは、つねに感覚をとぎすましていること、求められるときには堂々と威厳を示すこと、必要なときはいつでもテーマとなる部分をはっきりと打ち出し、ハーモニーやつなぎとなるいくつかの音符、脇役となるメッセージを強調する準備ができていること、そうした役目を終えたら全体のなかへ再びスムーズに滑りこむことなどです。

(まだまだ語り尽くせませんが、今回はここまで!)

カルテットの教科書／ハーター・ノートン著
阿部卓也 訳・大橋咲子 訳 (出版:春秋社)

団員オススメ名店! 大村編 おるびす



●おるびす tel.0957-50-2250
大村市西本町582-13



◎紹介者 田辺 清士 (チェロ)

大村の駅前アーケードから徒歩1~2分、お店に伺うと陽気な“マスター”と優しい雰囲気の“ゆうさん”が出迎えてくれます。店内には樹齢?00歳かと思われる柱やぬくもりの感じられるカウンターや床など落ち着いた雰囲気で、私はいつも時間がどれほど経ったのか忘れてしまうほど窓いでしまいます。

看板には創作串揚げ&サラダと書かれています(私は最近まで知りませんでした)が、カルパッチョ、ペペロンチーノ、グラタン、など洋風メニューも絶品です。このマスターはとても楽しい方で、私も最初にお会いしたときからフレンドリーに接していただいたのを覚えています。マスターとお話にいらっしゃる常連さんも多いのではないでしょうか。ここを訪ると非常に高い確率で合奏団のパトロンの方にお会いすることが出来ます。合奏団にとってある意味“聖地”なのかも知れません。

編集後記

今春から晴れてOMURA室内合奏団の団員になり、ドキドキワクワクの毎日です。本号からパトロネージュ通信もリニューアル! 楽しいパトロネージュ通信を目指して頑張ります!!!
(編集長:池田)

たまにコンサートでしゃべりすぎることがありますが、実は話すより書くほうが好きな山田です(^_^)/ 地方だから出来る密な繋がりを目指して、合奏団と会員の皆さんをリンクするパトロネージュ通信。どうぞお楽しみに♪ (副編集長:山田)

パトロネージュ通信リニューアル!今まで以上に団員の顔が見える通信を目指します! (事務局)

パトロネージュの皆様のご意見・ご質問を募集しています

- ◎OMURA室内合奏団の演奏会のご感想
- ◎OMURA室内合奏団団員へのご質問
- ◎パトロネージュ通信へのご意見
- ◎音楽や楽器の気になる疑問!!

などなど、OMURA室内合奏団に関するご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛 先 〒856-0836 大村市幸町25-33
シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係
メール omurapatron@gmail.com
団員一同、お待ちしております♪

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>